暴れん坊王女！

第一話
前回の暴れん坊王女三つの出来事！
1つ！ガリスディア帝国により亡国の王女となった音戸剣は竜王島へと流れついた。
2つ！竜王島に迫るガリスディアの魔の手、奈落獣ナントモナイゼを撃破した。
そして3つ！地球全土へ攻撃を始めたガリスディアに対抗する戦いが始まった。

用語解説
亡国の王女：ガレスディア帝国によりダイワ王国が滅ぼされたため音戸剣に生じた称号。別に他ユニットの性能を上げる効果はない。ちなみに彼女は継承権2位であったが、1位だった実兄「音戸一」がガリスディアとの戦いで戦死したため暫定的な王女となっている。

奈落獣ナントモナイゼ：海洋型奈落獣でありネプチューン級と類似した性能を持つ。海の中では無類の強さを発揮するが、ラストリゾートのマリンナイフの前に崩れ落ちた。
　余談ではあるがラストリゾートに都合よく対潜装備が搭載されていた理由は、海に囲まれたダイワ王国ではダゴンやギルマンといった海の妖異と戦う機会が多いため対潜武装がダイワ王国の標準装備となっているからである。また、海の妖異を倒した際には殻をさばいて火を通して食べることで浄化を行うという儀式が行われる。このとき使われる「アエマ」呼ばれる発酵調味料は地球イズモのソイソースと呼ばれる調味料に酷似しており何らかの関連性が疑われている。

ダイワ王国：地球イズモの中世(江戸中～後期)時代と非常によく似た文化を持っている。また、遠い宇宙の彼方であるにもかかわらず地球人とダイワ人の遺伝子構造は 99%以上の一致をしており一説には機甲歴以前のロステクで外宇宙へ進出した人類の末裔であると言われている。

暴れん坊王女！

第２話
前回の暴れん坊王女三つの出来事！
１つ！謎の干渉波にグランカテドラルが捕らわれ、残り 12 時間で破壊されそうになる。
２つ！発生源の奈落獣フミコミガタリンを成敗する。
そして３つ！アーデティアの軍勢にガーディアンが接収されてしまう。

用語解説
お供神：ダイワ王国に伝わる神の１柱を式神の形でつかう巫術。音戸剣が使うのは赤き龍アインソフの力を借りる物。見た目は小さい(20 ㎝程度)人型をしており、マスコットキャラクターのようにも見える。少々ボイスがうるさいがカルト的な人気を誇り愛用するダイワ人は多い。生産数が希少なためプレミアがついており高値で取引されていた。

奈落獣フミコミガタリン：恐るべき回避能力と反撃能力を持ち、生半可な攻撃ではかすることすら難しい。また、反撃のイグニスで的確に敵の武器を打ち抜く技術を持つ強敵であったが剣の３連奥義にて倒された。
　余談ではあるが、音戸剣の奥義はダイワ王国に伝わる霊鳥ツバメを確実にしとめるために修行して得たものである。敵の防御を崩す初撃の一の太刀(とりあえずニョルド)、逃げ場をふさぐ二の太刀(追いニョルド)、最後に敵の急所を突く終の太刀(メインプロセス)の３段階で構成されている。剣自身が未熟なため現在は３つの太刀の間には隙があるが、剣聖・神泉の領域(内なる神と共に)まで達することですべてを同時に放つことができることになるという。

神なる太刀：剣の魔力により神の力を借りて自身の攻撃に属性を付与する技。邪を祓う光の力を付与することがダイワ人の中では一般的とされている。神の力を借りるにも関わらず代償が一切(少なくとも表面上)無いため何か隠された危険性があるのではないかと指摘する声があったが、奈落討伐への利便性と目立った問題が発生しなかったため多くのダイワ人が使用していた。